

2017年10月3日

スカパーJSAT 株式会社
JSAT MOBILE Communications 株式会社

～ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ～
工学院大学ソーラーチームに協賛し
衛星移動通信インフラ提供により3度目の挑戦を強力にサポート

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治）の子会社である JSAT MOBILE Communications 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：依田 栄一 以下、JSAT モバイル）は、2017 ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ（以下、WSC）に参戦する工学院大学ソーラーチーム（以下、工学院大学）に協賛し、インマルサット衛星移動通信サービスを提供いたします。

WSC はオーストラリア北部のダーウィンから南部のアデレードまで総延長約 3,000km を走破する世界最大級の国際的なソーラーカーレースです（開催期間：2017年10月8日～15日）。工学院大学は前回2015年大会では準優勝を果たし、今回3度目の挑戦を迎え、更なる活躍が期待されているチームです。一週間以上にも及ぶレースでは広大な砂漠地帯などを通るため、通常の携帯電話を含む地上通信網がほとんど使用できません。JSAT モバイルは、2013年と2015年大会に引き続き、工学院大学に対して、英国インマルサット社およびシンガポール Addvalue Technologies 社の協力のもと重要な通信インフラとしてインマルサット衛星移動通信サービスと端末（「Safari」及び「IsatPhone 2」）を提供します。

Safari や IsatPhone 2 は、道路状況確認のために先行走行するスタッフが乗車するサポート車両や、レース戦略の指示を行う併走車両などの複数の車両間における連絡手段、並びに日本に残るスタッフとの情報共有手段としての活躍が期待されています。現地では天気予報の確認にも使用するなど、レース展開を左右する戦略上重要なツールとして活用されるほか、現地から SNS へ発信する等、日本にリアルタイムでレース情報を届ける際にも活用されます。

JSAT モバイルは、静止衛星による安定した通信回線品質と機動性に優れたインマルサット衛星移動通信サービスを提供することにより、大会期間中の工学院大学ソーラーチームを、今回も強力にサポートしてまいります。

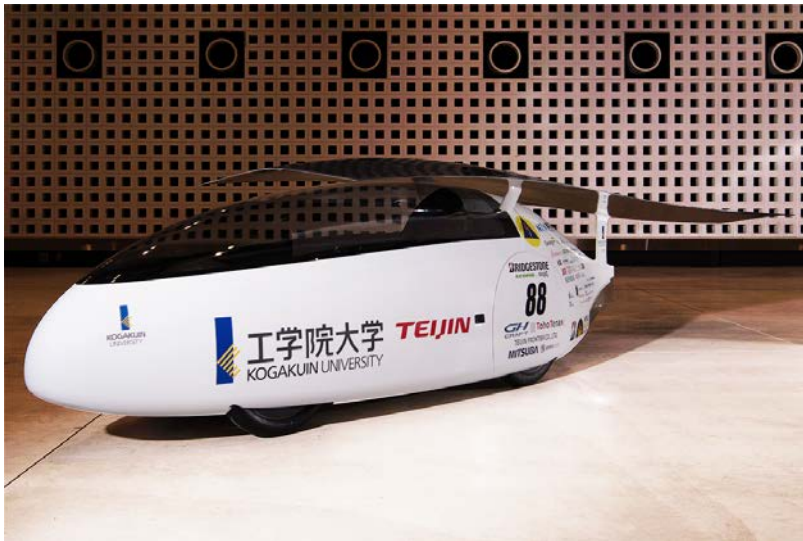
以上

<別紙：参考資料>

■工学院大学ソーラーチーム

工学院大学の学生が主体となり 2009 年に結成されたプロジェクトチーム。世界大会出場を機に年々スケールアップし、現在は 300 名を超える学生メンバーと各分野で先端研究に取り組む教員陣、さらに多くのサポート企業の協力を得て、産学連携による研究体制の強化に取り組んでいる。チームにとって 3 度目の参戦となる今大会では、学生が設計から製作まですべてを担当した新車両 “Wing” とチーム初の女性ドライバーで、チャレンジャークラスでの優勝を目指す。

◎新車両”Wing”



◎2013 年/2015 年大会時の様子

Safari (左)、IsatPhone Pro (右) を使用する様子



(上記写真提供：工学院大学)

■ Safari について



【製品概要】

- 車載用BGAN最少クラスのコンパクト端末
- 過酷な環境下での利用を想定した堅牢設計
- アンテナは付属のマグネット式ルーフマウンタを利用して簡単に設置可能
- 有線LAN端子に加え、Wi-Fi機能も搭載

■ IsatPhone 2 について

【製品概要】

- 音質向上、堅牢性 (IK04/IP65) に加えて、安否確認機能をも実装した最新鋭の衛星携帯電話
- 静止衛星ならではの安定した高い通話品質
- アンテナを折り畳んだ状態で待ち受けが可能
- 音声通話 (国際電話)、国際SMSが利用可能
- 連続通話8時間/待受160時間の大容量バッテリー



■ 通信エリア

